

1. 「ウェルビーイングと家庭科について語り合しましょう」記事紹介

2月9日に「オレンジページが提案する 人生100年時代のライフデザインメディア ウェルビーイング100」において、本協会常任理事の小林美礼さんがゲストとして話した記事が掲載されました。もう一人のゲストは、作家の阿古真理さんです。

この記事は、「ウェルビーイング研究の第一人者・石川善樹さんが、”食”を入口に、各界の俊英と対談、さらにスタッフとの「振り返り座談会」を通じてウェルビーイングを旅する連載です。」という連載の第15回目の記事です。

なお、石川善樹さんは、本協会機関誌『家庭科』令和5年度4号に寄稿いただいております。作家の阿古真理さんの第11回、第13回の記事も興味深い内容です。どうぞお読みください！

<https://www.wellbeing100.jp/posts/category/food>

2. 3月26日春期研修会の内容詳細について（現時点での予定）

春期研修会に向けて準備を進め、内容については、以下のように予定しております。参加申し込みをされていない先生方、是非、以下よりお申し込みください。

<https://forms.gle/M7VUwcb5Kiwo4uvQ6>

〈午前〉

・有友愛子先生からICTを活用した家庭科の授業についてご講義いただきます。その中で、本協会理事の3名からも簡単な紹介があります。

〈午後〉

- ・グループワーク 13:30～15:00（この間、グループごとに休憩をとる）
- ・共有・振り返り 15:00～16:00

○グループワークの内容（以下1～6をグループに分かれて実践、途中入れ替わり可）

1. スライドの活用（スライドの提示と共有）※これまでのデータの活用
2. ドキュメントの活用（ワークシートの共有）※これまでのデータ活用
3. スプレッドシートの活用（グラフ（データ）の活用）※これまでのデータの活用
4. シンキングツールの活用（ロイロ、スライドアプリ等）
5. フォームの作成
6. サイトの作成（①オススメサイトの共有、②データの挿入）

最後に、これらの教材を使ってどのような授業ができるか？を考えまとめる。

（Google スライド&ホワイトボード）→共有・振り返り時に発表します。

3. <第24回シーフード料理コンクール>上位入賞レシピとイベント動画公開のお知らせ

賛助会員の全漁連様より、標記のお知らせをいただきましたので、以下ご紹介いたします。

先般開催しましたシーフード料理コンクールの上位レシピ、イベント動画を公開しましたのでお知らせいたします。

https://www.pride-fish.jp/seafood_concours/

4. 「15歳のお金とくらしに関する知識・行動調査2023年」の結果

標記について金融広報中央委員会から情報をいただきました。知るぼるとホームページをご覧ください。

(知るぼるとホームページ)

https://www.shiruporuto.jp/education/data/container/15sai_chosa/

本調査（インターネット調査）は、義務教育を終えた子どものお金とくらしや金融に関する知識・判断力（金融リテラシー）の状況を把握することを目的に、「子ども版金融リテラシー調査」の位置付けで、全国の高校1年生を対象に行ったものです。

—— 同調査での設問は、「金融リテラシー・マップ※」の8分類に基づいた金融リテラシーにかかる知識と望ましい行動に関する設問と、お金とくらしに関する行動・考え方等を問う設問で構成。

※ 金融経済教育推進機構（事務局：金融広報中央委員会）が作成した「最低限身に付けるべき金融リテラシー」の「項目別・年齢別スタンダード」

【ご参考：調査結果の主な項目）

- 15歳の金融リテラシーの現状
- 15歳のお金に関する行動・考え方
 - ① おこづかい・お年玉、貯金、お金の管理、② キャッシュレス
 - ③ 買い物、自分の持ち物の売却、トラブル、④ インターネット、ニュース
 - ⑤ 保護者との会話、⑥ お金を巡る態度、
 - ⑦ 金融経済の基礎、資産形成、保険の理解
 - ⑧ 学校での金融教育、⑨ 進路、職業選択
- 金融リテラシースコアの階層別にみた特徴
- 【BOX1】 成年年齢引き下げについて
- 【BOX2】 金融リテラシー調査2022年との比較
- 今後の課題

また、「15歳のお金とくらしに関する知識・行動調査」の設問を活用し、学校

などで生徒の皆さんのお金とくらしや金融に関する知識・判断力（金融リテラシー）の状況を把握するための「回答・集計ツール」を用意しております。メールで申請を頂ければご利用いただけます。

このほか、生徒が金融リテラシーマップの設問に回答して、自身の金融リテラシーの強い分野や弱い分野を手軽に確認することができるミニクイズ（5問）を知るぼるとホームページに掲載しておりますので、併せてご利用下さい。

以上